

戦争体験講演会(11/24 PTA 主催行事)

11月24日(水)の5・6校時、衣山武秀先生(棚倉町在住)を講師に迎え、全校生徒を対象に実施しました。

衣山先生は、昭和9年にフィリピンのミンダナオ島に生まれ、現地で太平洋戦争を体験し、終戦後日本に引き上げました。その間の体験談を、写真を交えて講演してくださいました。フィリピンでの日常生活や、米軍に追われたジャングルでの生活、日本にきてからの苦労など、教員も含めて戦争を知らない世代にとっては驚く内容ばかりでした。



講演の最後に紹介された、アルベルト・アインシュタインの言葉が印象的でした。

“The world will not be destroyed by those who do evil, but by those who watch them without doing anything.”

『悪い行いをする者が世界を滅ぼすのではない。それを見ていながら何もしない者たちが滅ぼすのだ。』

子どもたちも様々な思いを抱いたようです。以下に、子どもたちの感想の一部を紹介します。

- 今まで戦争に対しては、教科書で学ぶことしかできませんでした。だから、遠い昔の出来事のようにしか思えませんでした。しかし、今回の講演を聴いて、戦争がとても辛い出来事だということ、戦争で苦しんでいる人がまだいるということを実感することができました。
- 戦争について改めて知りました。教科書で習ったことは、一部しか載ってなかったのが、ちゃんと知ることができて良かったです。そして今の暮らしがどれだけ安全かを改めて知ることができました。生徒代表のコメントにもありましたが、やはり実際に体験した人の言葉の重みは計り知れないものでした。
- うちの祖父も今80歳ですが、戦争を体験したそうです。よく、「戦争って何?」と聞くと、衣山先生のようにお話をしてくれます。このお話をとおして、自分の命の大切さ、この世に生を受けたありがたさをとてもよく実感しました。
- 私は戦争を体験したことがないのでどういうものか分かりませんでしたが、今回の講話をとおして、戦争はどれだけ辛くて苦しいものなのかを知りました。現地の人がまんじゅうを配って、それを食べた日本人がみんな死んでしまったという話を聞きとても残酷だなと思いました。今日、講話で知ったことを家族に話したいと思います。
- 今日の講演会で、今の幸せが当たり前ではないことを知りました。私は戦争を体験したことがないので、衣山先生のお話をイメージすることしかできませんが、それだけでもとても辛い経験だったことが分かりました。貴重なお話をありがとうございました。
- 今、当たり前の生活を送ることができていることが、どれだけ幸せなことなのか実感することができた。また、人の命がどれだけ尊いのか知ることができた。これから、何十年と生きていく上で当たり前がどれほど幸せなことか実感しながら生きていきたい。
- 戦争について詳しく知ることができてとても勉強になりました。想像をしながら話を聞くと、心が痛くなりました。ですが、この話を忘れることなく次世代に伝えていくことが大切なのではないかと思っています。

性に関する講話(11/25 2年)

11月25日(木)6校時、2年生を対象に、白河厚生病院助産師の市川愛海先生を講師にお迎えして、性に関する講話を実施しました。「思春期のこころと体」をテーマに、1学年の保健で学んだ内容とリンクさせながら、体のこと・心のこと・DVなどについて学習しました。

改めて、自分を大切にしようと思いました。また、個人差があるため人と比べることをしなくてもいいんだと思いました。

命のすごさや大切さを改めて感じる事ができた。嫌なことを言われたら言い返すのではなく、相手と周囲・自分のことを考えながら対処していきたいと思った。

DVは嫌だなと思いました。これからも、相手のことも自分のことも大切にしていきたいと思いました。

世界にひとつしかない命なので、これからも大切にしていきたいと思います。



ふくしま駅伝 戸上さん・橋本さん区間賞！！

11月21日(日)に行われたふくしま駅伝では、西郷村が村の部で2位となりました。本校から出場した子どもたちも全力を出してがんばってくれました。

7区の戸上博斗さんと9区の橋本琴美さんが、村の部で区間賞を獲得しました。

おめでとうございます！

生徒会役員選挙(12/9)

12月に生徒会役員の改選が予定されています。

生徒会長をはじめ生徒会の各係りに14人もの子どもたちが立候補してくれました。学校を盛り上げていきたいという熱意を感じ、嬉しい限りです。

今後とも、ご家庭と学校が連携しつつ、子どもたちの主体的な活動を支えていきたいと考えています。

野田大臣から皆さんへのメッセージ

こんにちは。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

新型コロナウイルスの影響が長引いている中で、心の不調を感じている方が多くおられると思います。

また、悩みを抱えている方も多くおられると思いますが、支援制度や相談窓口があるのに、それを知らずに一人で悩みを抱え込んでいませんか。悩みごとを誰かに打ち明けたら、相談したい川がいますか。

こうした方々に向けて、「孤独・孤立対策ウェブサイト」では、私たちが孤独・孤立対策に関連するものとして現在考えている制度や相談窓口の中から、ご自身の状況にあった支援を探したいだけができます。今最も内容を充実させていきますが、少しでも早く必要を情報、悩みを抱えておられる方々に届けたいと思っております。

どんなに頑張っても自分だけではどうしようもない状況に追い込まれるときは、誰にでもあります。私自身も、孤独感や孤立感に陥るときはあります。

そんな時には、誰かに相談して悩みを打ち明け、一緒に考えてくれる人とのつながりによって、今の状況が少しでも良くなるはず、そう信じています。悩みを誰かに打ち明けることは、決して恥ずかしいことではなくて、あなた自身を守るために必要なこと、そう信じて前に進んでみてください。

孤独感や孤立感の中で様々な悩みを持っておられる方々のために私たちができることを、政策として実行していくため、全力を尽くしていきます。

孤独・孤立対策担当大臣 野田 聖子

野田大臣から18歳以下のみなさんへのメッセージ

こんにちは。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

悩みを誰にも相談しないで、ひとりで苦しい気持ちをかかえていますか。自分だけでなんとかがらうと、もがいていますか。

私たちはみなを、誰かに助けられたり助けたり、ささえあうことで、つらいときを乗り越えることができます。

悩みがあつてつらいときに、よりサポートしてくれる人や一緒に考えてくれる人は、きっといるはず。親、先生、友達、地域のひとなど、信頼できる周りの人に、まず相談してみてください。

それでも、周りには頼れる人がいない、誰も助けられない、ということがあるかもしれません。

そう思うときは、このウェブサイトで紹介している相談先の方々に、みなさんの悩みを話してみてください。このウェブサイトには、みなさんの気持ちを受け止めて、ささえられる人がいます。

いま、みなさんが苦しい気持ちをかかえていても、解決方法を見つけたら、少し先方を渡ると今まで気がつかないことが見えてきたり、気持ちが和らぐことがあります。

あなたにはひとりじゃない。どうか、ひとりでかかえこまずに、まず誰かに相談してみてください。

孤独・孤立対策担当大臣 野田 聖子